

事前評価書

| | |
|---|------------------|
| 1 事業名 流域治水対策河川事業（交付金） | 路線名等 二級河川 柳生川 |
| 2 事業概要 (1)位置 愛知県豊橋市 (2)規模・内容 河床掘削、護岸及び橋梁等の補強L＝約4.2km、 高潮堤防の嵩上げL＝約3.1km、地下河川の整備L＝約1.0km、 橋梁の改築N＝1基、放流施設改築N＝1箇所 (3)事業期間 平成22年度～平成44年度 (4)事業費 約11,900百万円 | |
| 3 必要性 河口より約5kmに位置する境橋下流の約500m間には、JR東海道新幹線橋、JR東海道本線橋、豊橋鉄道橋、国道259号境橋等の橋梁が7橋集中し、また、周辺は市街化密集区域であり、改修にあたって課題の多い箇所となっていたため、事業着手が遅れていた。この区間の流下能力は130m ³ /sと前後間の流下能力の7割弱、概ねW=1/2未満の流下能力しかなく、周辺の人口・資産の集積状況を勘案すると改修の必要な区間である。 平成20年8月末豪雨では、柳生川流域全体で床上浸水140棟を含む計278棟の家屋が浸水した。この内の約9割が柳生川本線流域で発生し、特に境橋上流で内・外水被害により10.4haが浸水、床上浸水79棟を含む139棟が被災した。 そのため、境橋下流の約500m区間の流下能力不足を解消し、境橋上流の浸水被害軽減を早急に図る必要がある。 | |
| 4 事業効果 (1)評価期間：事業着手から事業完了後50年間 (2)基準年度：平成23年度 (3)基準年における総費用（C）：103.9億円 (4)基準年における総便益（B）：255.4億円 (5)便益の内訳 一般資産、公共土木施設等 (6)費用対効果（B/C）：2.46 | |
| 5 事業をめぐる社会情勢 平成20年8月末豪雨により甚大な被害を受けており、地元の事業に対する期待度は高いものがあります。 | |
| 6 その他特記事項 | |